

## 新発田市 令和 2 年度 第 10 回定例記者会見

1 日 時 令和 3 年 3 月 17 日（水）午後 2 時～

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

○新型コロナウイルスワクチン接種事業の進捗について

○小学校の学校統合（豊浦小学校・七葉小学校）

○東京 2020 オリンピック聖火リレー・ミニセレブレーション

### あいさつ

○春めいた季節になってきました。ニュース等でも桜の開花が話題になっているようです。聞くところによると、例年よりは今年が開花が早いということですが、あの大雪を経験したこともあって実感がわいていません。

○新発田は元々東洋一の桜の名所、長堤 10 里加治川の桜が有名でした。その名残を求めて堤防に桜の植樹を行っていますし、新発田城址公園、加治川治水記念公園、大峰山と新発田は桜の名所の地であります。

○シートを敷いて花見とはいかないですが、ずっと自粛をしていた市民の皆さんに、せめて桜の花を愛でてもらう位の準備は進めています。少しではありますが、癒しになればと思っています。

○また、春を感じてもらおうということで、札ノ辻広場で「しばた春マルシェ」を開催させてもらいました。平日でしたが、市民の皆様ご来場いただきました。今月 26 日（金）にも開催しますので、もっと PR をして、ご来場いただけるよう準備をしたいと考えています。

**それでは、会見項目を説明いたします。**

### **初めに、「新型コロナウイルスワクチン接種事業の進捗」について**

○「新型コロナウイルス感染症に負けてたまるか！」という強い決意のもと、この感染症に立ち向かい、市民の皆様のご大事な命と健康を守るため、機を逸することなく、スピード感をもって感染症予防対策を進めています。

- 県内でも早い段階でプロジェクトチームを設置し、県内でも常にトップをキープしながら、ワクチン接種、無症状者を対象とした PCR 等検査などの感染症予防対策の充実・強化を図ってきました。
- このたび、県から 4 月 5 日の週から 4 月 19 日の週までの、ワクチン配分量が示されました。県内第一弾となる 4 月 5 日の週は、量が限定的であり、早期に準備が整った市町村として、当市を含む県下 6 市町への配分が決定しました。
- 当市が希望したワクチン量がほぼ認められた配分量であります。これまで、県内初で集団接種の模擬訓練の実施など、先を見越して準備を進めてきたことを高く評価いただいた結果であり、医師会や関係機関、関係団体の皆様、何よりも先頭をきって頑張ってきたプロジェクトチームのメンバーが、「オールしばた」で勝ち取ったワクチンだと頼もしく感じています。
- 待ちに待った、新型コロナウイルス感染症に打ち勝つ切り札となるワクチン接種を、4 月 12 日から開始します。これで、本当の意味での安心を手にすることができました。
- まずは、65 歳以上の対象者のうち、クラスターの発生防止のため高齢者施設入所者から接種を始めることとして、この中でも併設医療機関や医師の常勤により、緊急時の対応が可能な介護老人保健施設及び介護医療院 5 施設の入所者から先行で接種を行います。
- その後、特別養護老人ホーム 15 施設の入所者、続いて、一般の 65 歳以上の方と順次対象を拡大し、実施する計画としています。これに向けて、3 月下旬から順次、接種を受けるために必要なクーポン券などの個別通知を発送することにしていきます。
- また、4 月 12 日（月）に介護老人保健施設豊浦愛広苑において、市内初となるワクチン接種を行いますので、ぜひ取材をお願いします。
- 一方で、市民の不安に寄り添うことも決して忘れてはなりません。3 月 10 日には、ワクチン接種についての市専用コールセンターを開設しました。今後、接種に伴う予約受付専用ダイヤルを設けるなど、希望する市民が、安心してスムーズに接種を受けられる体制づくりも併せて進めます。

○また、個人通知や市ホームページ、広報しばた等に加えて、医師などの専門家や保健自治会役員などの身近な方からの声掛けがワクチン接種の後押しとなると考えられますので、「オールしばた」で周知を行い、自分と大切な人の命を守るために、一人でも多くの市民の皆様安心して接種いただけるように、引続き強い決意で準備を進めてまいります。

## **次に、「小学校の学校統合」について**

○令和3年春、学校統合により2つの小学校が新たにスタートします。1つは、豊浦地区の4つの小学校が豊浦小学校、もう1つは、菅谷小学校が統合されて、新生・七葉小学校として生まれ変わります。

○学校統合で、最も重視すべきことは、子ども達がより実りの多い学校生活を送ることです。子ども達が新たな環境に戸惑いや不安を感じる事が決して無いように、これまでの間、様々な交流活動に力を入れてきました。

○学校は単なる学びの場としてだけでなく、様々な体験や友人たちとの大切な思い出を育んだ場であり、地域の皆様にとっては長い歴史と先人たちの想いが詰まっている大切な場所でもあります。

○閉校という節目が、地域の皆様にとっても、子どもたちにとっても、これまで歴史を創り上げてきた先人への感謝を持てるよう、各校それぞれに工夫を凝らした閉校記念事業を行ってきたと聞いており、マスコミの皆様にも取り上げていただきました。

○4月8日には、豊浦小学校、七葉小学校の開校式が行われる予定です。緊張の中にも大きな期待と希望を持って、子ども達も、地域の皆様も、新しい歴史の始まり迎えることを楽しみにしています。引き続き、地域の皆様には、子ども達の成長を温かく見守っていただくことを、是非ともお願いしたいと思います。

## **次に、「東京 2020 オリンピック 聖火リレー」について**

○6月5日（土）に、市内で東京 2020 オリンピックの聖火リレーが行われます。新発田城をスタートし、城下町の歴史・文化を感じる清水園や寺町などを通り、ヨリネスしばたをゴールとする経路をたどります。

- 今回のルートは、「いにしえから未来へつなぐ新発田の心」がコンセプトです。いにしえは新発田城であり、未来への希望を象徴は、市役所本庁舎ヨリネスしばたです。
- 聖火ランナーは、選考枠で選出された美<sup>み</sup>遠<sup>お</sup>さゆりさんと出来島桃子さん 2名です。今さら私が言うまでもありませんが、美遠さんは、パラ卓球の選手として、国際大会で優秀な成績を収める活躍をし、東京パラリンピックへの出場が期待されている選手です。
- また、出来島さんは当市の職員として勤務する傍ら、ノルディックスキーマの選手として、過去に 4 回、パラリンピックに出場しています。先日も、国内大会で優勝した、まさに、当市が誇るトップアスリートです。
- 残念なことに、2 人が市内を走れるかどうか、まだ決定していないとのことです。何としても、両選手に市内コースで聖火を運んでほしい。コロナ禍で苦境にある市民を勇気づける「希望の灯」が聖火となるよう、県の実行委員会の皆様には、市内ルートの走行を実現してほしいと考えています。
- オリンピックの聖火ランナーが、今度、市内を駆け抜けるのはいつの事になるか分かりません。世紀のイベントを大いに市民の皆様と楽しむために、マスコミ皆さんも盛り上げに一役買ってほしいと思います。

本日お知らせする情報は以上となります。

報道各社の皆様には、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますようお願いいたします。